

科目分類	助産学基礎科目			開講時期	1年	前期
授業科目	周産期の基礎科学（薬理・栄養）					
選択／必修	必修	単位数（時間数）	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	山崎 弘美					
メールアドレス	h-yamazaki@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	授業後			

授業目的	<p>1) 周産期における薬物の特徴、作用機序、母子に及ぼす影響が説明できる。</p> <p>2) 周産期に関連した薬剤の管理について理解する。</p> <p>3) 母子の食生活の現状と母子の栄養の意義が説明できる。</p> <p>4) 妊産褥婦・乳幼児に必要な栄養に関する知識を習得し、栄養状態の評価ができる。</p>
授業概要	<p>周産期における薬剤および栄養についての基礎的知識を学ぶ。薬剤に関しては、周産期に使用される①薬物の特徴、②作用機序、③母子に及ぼす影響等の基礎的な知識、栄養においては、母子の食生活の現状を踏まえた上での妊産褥婦・乳児の栄養に関する基礎的知識を習得する。</p>
授業内容	<p>第1回 母子と生活環境（物理的要因、化学的要因）</p> <p>第2回 母子と栄養1（母子の健康と食生活、栄養状態の評価）</p> <p>第3回 母子と栄養2（ライフステージと栄養）</p> <p>第4回 課題発表およびテスト1</p> <p>第5回 母子と嗜好品・薬物（タバコ、アルコール、依存性薬物）</p> <p>第6回 妊娠期に使用する薬物とその影響</p> <p>第7回 分娩期・授乳期に使用する薬物とその影響</p> <p>第8回 課題発表およびテスト2</p>
教科書 参考書等	<p>教科書</p> <p>助産学講座3 基礎助産学 [3] 母子の健康科学 第6版(医学書院)</p> <p>助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [1] 妊娠期 第6版(医学書院)</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期 第6版(医学書院)</p>
成績評価 基準・方法	<p>課題（50%）、筆記試験（50%）により総合的に評価する。</p> <p>合格基準 60%以上</p>
履修要件	<p>特になし</p>
留意事項 その他	<p>無断欠席は厳禁です。</p> <p>本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。</p>